

「南稜の私が伝えたい事」コーナー

(続) 南稜校区内の神社・主祭神のプロフィール < その3 >

◇月読命(つくよみのみこと)(記紀神話の月の神)

月弓尊、月夜見尊とも言う。三貴子(天照大神・月読命・素盞鳴命)の中の一柱。  
豊橋市内の神社“169”あるなか、唯一、高塚町の『菟頭神社(うがしらじんじゃ)』が、  
「月読命」を主祭神としている。



◇武甕槌命(たけみかづちのみこと)(記紀神話の男神)・・・植田の「車神社」

伊邪那美神の死後、伊邪那岐神のみより生まれた神々の一柱。また、国譲り・国土平定神話に登場する神々の一柱でもある。

天孫降臨に先立ち、天照大神および高皇産霊尊(たかみむすびのみこと)の命を受け、  
経津主神(ふつぬしのかみ)とともに出雲に赴き、大国主命(おおくにぬしのみこと)  
と談判し、その子・建御名方神(たけみなかたのかみ)を屈服させて国譲りの大業を  
成就した一方、諸神も鎮撫し、国土平定。天孫降臨の道を開いた。



投稿：ルポライター 野依のM・Y